

施設概要

(令和5年4月1日現在)

施設名 白井駅前公民館 (白井駅前センター内)		開館時間 公民館業務 午前9時～午後9時 児童館業務 午前9時～午後8時 図書室業務 午前9時(閲覧) 午前9時30分(貸出) ～午後5時 老人憩いの家 午前9時～午後5時 出張所業務 午前8時30分～午前12時 (開庁日:火・木) 午前8時30分～午後5時15分 (開庁日:土)	
所在地	〒270-1424 白井市堀込1-2-2	併設施設	出張所・児童館・図書室・老人憩いの家 白井駅前地域包括支援センター
TEL	047-497-1151	FAX	047-497-1152
メール	shiroiekimae@roukyou.gr.jp		
休館日	月曜日・国民の祝日 12月29日～翌年1月3日	駐車場	16台(内1台障がい者専用)
職員構成 R2年4月現在	センター長1名 事務職1名 児童厚生員4名 (非)児童厚生員4名 司書1名 図書館経験者2名 夜間管理3名 合計16名		
貸出施設	1時間あたりの施設使用料(社会教育認定団体は2分の1)		
	施設名	定員	9:00～21:00 付帯設備
	作法室	36名	350円 座卓10本・鏡台4個 囲碁盤5面・碁石6セット他
	調理実習室	24名	720円 調理台4台・電子レンジ2台 炊飯器3台・椅子23脚 ガスオープン4台
	研修室Ⅰ	18名	250円 机6本・椅子18脚
	研修室Ⅱ	24名	250円 机8本・椅子24脚
	視聴覚室	42名	780円 ピアノ1台・テレビ1台 ビデオ1台・DVD1台 ブルーレイ(再生のみ) 椅子35脚・机10本
	レクリエーション ホール	100名	970円 卓球台5台・バドミントン用ネット及び ポール各1個
貸し出し 可能備品	ホワイトボード・スクリーン・可動式DVD・可動式ビデオ		

令和4年度 公民館等団体別利用状況 (白井駅前公民館)

種別	青少年		成人		女性		高齢者		その他		個人		合計	
月	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4	41	800	157	1,389	11	93	14	143	9	137	23	118	255	2,680
5	36	600	146	1,281	8	66	12	139	11	162	20	116	233	2,364
6	36	645	160	1,314	12	102	14	162	16	281	21	130	259	2,634
7	43	676	168	1,356	10	78	9	102	11	174	21	99	262	2,485
8	44	554	107	977	8	69	9	96	13	212	19	77	200	1,985
9	34	686	155	1,322	10	86	10	121	20	300	15	81	244	2,596
10	42	785	155	1,363	10	65	12	148	32	464	20	90	271	2,915
11	39	729	148	1,316	8	67	11	135	17	260	21	100	244	2,607
12	46	765	146	1,168	9	70	12	145	12	206	14	73	239	2,427
1	46	760	149	1,288	8	56	14	206	8	107	14	78	239	2,495
2	38	645	156	1,423	8	64	12	144	8	128	10	70	232	2,474
3	40	734	144	1,254	9	79	14	148	40	1,291	29	169	276	3,675
合計	485	8,379	1,791	15,451	111	895	143	1,689	197	3,722	227	1,201	2,954	31,337

令和4年度部屋別利用件数・利用人数

部屋名	利用件数(件)	利用人数(人)	年間利用率(%)
研修室 1・2	339	4,717	26.5
研修室 1	194	1,255	11.2
研修室 2	284	2,072	17.8
作法室	436	3,383	28.4
調理室	10	239	1.8
視聴覚室	621	6,765	39.6
レクホール	1,070	12,906	65.4
合 計	2,954	31,337	

令和4年度 白井駅前公民館 事業報告

●白井市が目指す将来像（第5次総合計画基本構想から）

「ときめきと みどりあふれる 快活都市」

●目指す将来像を実現するために（第5次総合計画後期基本計画から抜粋）

戦略1「若い世代定住プロジェクト」

- ・ゆとりある暮らしを感じるまちづくり
- ・働く場を生み出すまちづくり
- ・子育てしたくなるまちづくり

戦略2「みどり活用プロジェクト」

- ・「かかわれる農」のまちづくり
- ・みどりを育み活かすまちづくり

戦略3「拠点創造プロジェクト」

- ・都市拠点がにぎわうまちづくり
- ・地域拠点でつながる健康なまちづくり
- ・拠点を結ぶまちづくり

これらのプロジェクト（まちづくり）を実現するため、①「つどう」②「まなぶ」③「むすぶ」④「つくる」⑤「さがす」の公民館の代表的な5つの機能を生かした事業展開を行いました。

1. 運営方針

（1）全体の運営方針

子どもから高齢者・障がい者まで多様な世代が集い学ぶことをきっかけに、人と人のつながりが地域のにぎわいや活力を生み出す関係をつくり、孤立化を防ぎ、災害時などにも支え合える地域づくり・まちづくりを進める。地域の小中学校・高等学校とも連携を図り、子どもたちの社会参加を促進し、活躍できる場を提供していく。また感染症拡大防止に努めながら、コロナ禍の課題解決につながる心身共に健やかな生活を目指した講座を展開する。

（2）分野別方針

	運営目標
家庭教育 (1)	①若い世代への子育て支援を行い、地域全体で子育てを支えるしくみをつくる。 ②同世代の子どもを持つ保護者同士の交友関係を広げ、安心して子育てできる環境をつくる。
青少年教育 (2)	①学年・学区の異なる子どもたちの交流を図る。 ②学習、体験、活動を通して、その技術を身に付けると共に学ぶ楽しさを実感する。 ③講座を通して社会に目を向け、視野を広げる。

成人教育 (3)	①生涯学習の楽しさや意義を学ぶ。 ②講座を通して（世代間）交流を図る。 ③地域を支え、繋げていく担い手を育成する。 ④日々の暮らしを充実させ、地域を支える仕組みをつくる。 ⑤コロナ禍における健康面での課題を心身共に解決する。
団体育成 (4)	①新規団体や活動が停滞した団体をサポートし、活性化を目指す。

(3) 令和4年度 重点に実施した項目（講座・事業など）

コロナ禍において停滞傾向にあるサークル活動を活性化するため新規団体の立ち上げに注力した。

- ・スマイルライフ倶楽部
- ・バンドチャレンジ講座5

2. 公民館 講座等実施報告

(1) 学習講座事業

対象	学級・講座名		回数	参加人数
家庭教育 (1)	B a b y t i m e (児童館共催)	①・②	7 回	延べ32組67 人
	チビちゃんポケット (児童館共催)	①・②	7 回	延べ34組72 人
	子育てサロン (児童館共催)	①・②	9 回	延べ23組50 人
青少年教育 (2)	トライアカデミー～ものづくり 教室～（定期講座・児童館・憩 いの家共催）	①・②	10 回	12 人
	ジョイキッズ（児童館共催）	①・②・③	3 回	延べ16 人
成人教育 (3)	バンドチャレンジ講座5（定期 講座・児童館・憩いの家共催）	①・②・③	25 回	15 人
	ライフサポート講座（①憩いの 家共催②児童館共催）	①・②・③	2 回	延べ64 人
	スマイルライフ倶楽部（定期講 座・憩いの家共催）	①・②・⑤	22 回	21 人
	「SDGs 8 働きがいも経済 成長も」「SDGs 11 住み 続けられるまちづくりを」～ ハッピートラベル～（憩いの家 共催）	①・③・④	2 回	延べ19 人
団体育成 (4)	施設予約システム勉強会 ～スマホ ver～	①	2 回	1 人

(2) 講座以外に行った事業

- ・地域懇談会（利用団体連絡会）
- ・白井駅前センターフェスティバル（児童館・憩いの家共催）
- ・「SDGs 8 働き甲斐も経済成長も」「SDGs 11 住み続けられるまちづくりを」
白井市第5次総合計画拠点創造プロジェクト「輪音」（児童館・憩いの家共催）
- ・駅前ボランティア（児童館・憩いの家共催）
- ・コミュニティファンド～駅前ファンド～（児童館・憩いの家共催）

(3) 情報の提供

- ・センターだより・子育て通信・ブログ掲載・自主事業ポスター掲示、配布
- ・地域情報掲載 ・利用者の活動ポスター掲示

(4) 施設の提供

- ・地域住民が地域課題に取り組み、交流を図る場の提供

(5) 「withコロナ」「afterコロナ」時代に向けた対応

- ・コロナ禍においても地域の高齢者がいきいきと元気に過ごすため、市民と共同で「スマイルライフ講座」を開講し、新規団体が立ち上がった。
- ・日々の運営の中で、衛生管理や環境整備を徹底した。
- ・状況を鑑みながら施設利用法を検討し、対応した。

講座・学習プログラム

講座名	Baby time（児童館共催）			
対 象	2 か月～1 歳までの子とその保護者			
募集人数	1 ～2 回：5 組、3 ～7 回：7 組	参加人数	延べ 3 2 組6 7 人	
事業の課題と目標				
課 題				
・核家族化で、日中親だけで過ごし、地域とのつながりも少なく孤立感を持つ保護者が増えていると思われる。				
目 標				
・生後2 か月～1 歳までの乳幼児と保護者とのふれあい遊び等を通して、親子の絆を深め、親子同士の交流を図る。				
学習期間	令和4 年5 月～令和5 年3 月		回数	7 回
学習場所	児童館（チャイルドルーム）			
予 算	総額：	5,000 円	総額：	630 円
	※うち参加者負担金	500 円	※うち参加者負担金	200 円
	内訳： 講師料	円	内訳： 講師料	0 円
	その他事業費	5,000 円	その他事業費	630 円
講 師	当館職員			
事業参加者への配慮等				
・参加者みんなが楽しめるよう配慮する（孤立しないように）。				
・次の案内をして参加してもらうよう声掛けをする。				
事業の成果（課題や目標に対して）				
・保護者同士知り合える機会となり、作業しながら話すことで共感し合うことができた。				
・親子のふれあい遊びや制作を通して、親子の絆を深められた。				
備 考				

学習報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	講 師	事業のねらい
1	5月18日	傘のモバイル 参加人数 2 組4 人 自己負担金 200円	当館職員	・生後2 か月～1 歳までの乳幼児と保護者とのふれあい遊び等を通し、親子の絆を深め、親子同士の交流を図る。
2	6月29日	七夕飾り 参加人数 7 組1 5 人	当館職員	・生後2 か月～1 歳までの乳幼児と保護者とのふれあい遊び等を通し、親子の絆を深め、親子同士の交流を図る。
3	9月21日	コスモスのリース 参加人数 6 組1 2 人	当館職員	・生後2 か月～1 歳までの乳幼児と保護者とのふれあい遊び等を通し、親子の絆を深め、親子同士の交流を図る。
4	10月5日	びよびよんウサギ 参加人数 3 組6 人	当館職員	・生後2 か月～1 歳までの乳幼児と保護者とのふれあい遊び等を通し、親子の絆を深め、親子同士の交流を図る。
5	11月2日	手形アート 参加人数 6 組1 3 人	当館職員	・生後2 か月～1 歳までの乳幼児と保護者とのふれあい遊び等を通し、親子の絆を深め、親子同士の交流を図る。

学習報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	講 師	事業のねらい
6	2月1日	鬼さんでんてん太鼓 5組11人	当館職員	・生後2か月～1歳までの乳幼児と保護者とのふれあい遊び等を通し、親子の絆を深め、親子同士の交流を図る。
7	3月1日	花かんむり 3組6人	当館職員	・生後2か月～1歳までの乳幼児と保護者とのふれあい遊び等を通し、親子の絆を深め、親子同士の交流を図る。

講座・学習プログラム

講 座 名		ちびちゃんポケット（児童館共催）		
対 象		1歳以上の子とその保護者		
募 集 人 数		1～3回：6組、4回：8組、 5～7回：10組	参加人数	延べ 34組72人
事業の課題と目標				
課 題				
・少子化の背景の一つとして、最近の都市化や核家族化に加え、地域の人間関係の希薄化等による子育て中の親の育児への不安感や負担感の増大、育児の孤立化が挙げられる。				
目 標				
・集まった親同士が情報交換（育児・生活・あそび・勉強）をしながら「子育ての輪づくり」や家庭・地域での「あそびの環境づくり」ができるよう支援していく。				
・様々な製作を通し、季節を感じ、子どもの成長を見守る。				
学習期間	令和4年5月～令和5年3月		回数	7回
学習場所 児童館（小学生ルーム）				
予 算	総額：	5,000 円	決 算	総額：
	※うち参加者負担金 内訳：講師料 その他事業費	600 円 0 円 5,000 円		※うち参加者負担金 内訳：講師料 その他事業費
1,324 円			500 円	0 円
1,324 円				
講 師 当館職員				
事業参加者への配慮等				
・参加者みんなが楽しめるよう配慮する（孤立しないように）。				
・次回の案内をして参加してもらうよう声掛けをする。				
事業の成果（課題や目標に対して）				
・製作を通し季節を感じたり、子どもの成長を感じたりすることができた。				
・親子で製作することで、コミュニケーションが図れた。				
・親同士の情報交換の場となり、親同士の交流が図れた。				
備 考				

学習報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	講 師	事業のねらい
1	5月25日	「パタパタちようちよ」作り 参加人数 5組10人 自己負担金 500円	当館職員	・集まった親同士が情報交換（育児・生活・あそび・勉強）をしながら「子育ての輪づくり」や家庭・地域での「あそびの環境づくり」ができるよう支援していく。 ・様々な製作を通し、季節を感じ、子どもの成長を見守る。
2	6月15日	スタンプを使ったうちわ作り 参加人数 8組18人	当館職員	・集まった親同士が情報交換（育児・生活・あそび・勉強）をしながら「子育ての輪づくり」や家庭・地域での「あそびの環境づくり」ができるよう支援していく。 ・様々な製作を通し、季節を感じ、子どもの成長を見守る。
3	7月6日	水遊びグッズ作り 参加人数 3組8人	当館職員	・集まった親同士が情報交換（育児・生活・あそび・勉強）をしながら「子育ての輪づくり」や家庭・地域での「あそびの環境づくり」ができるよう支援していく。 ・様々な製作を通し、季節を感じ、子どもの成長を見守る。
4	11月16日	くだもの狩りごっこ 参加人数 7組14人	当館職員	・集まった親同士が情報交換（育児・生活・あそび・勉強）をしながら「子育ての輪づくり」や家庭・地域での「あそびの環境づくり」ができるよう支援していく。 ・様々な製作を通し、季節を感じ、子どもの成長を見守る。
5	1月18日	節分グッズ作り 参加人数 2組4人	当館職員	・集まった親同士が情報交換（育児・生活・あそび・勉強）をしながら「子育ての輪づくり」や家庭・地域での「あそびの環境づくり」ができるよう支援していく。 ・様々な製作を通し、季節を感じ、子どもの成長を見守る。

学習報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	講 師	事業のねらい
6	2月15日	紙コップでクラッカー作り 参加人数 3組6人	当館職員	・集まった親同士が情報交換（育児・生活・あそび・勉強）をしながら「子育ての輪づくり」や家庭・地域での「あそびの環境づくり」ができるよう支援していく。 ・様々な製作を通し、季節を感じ、子どもの成長を見守る。
7	3月15日	なんちゃってお弁当を作ってピクニックごっこを 楽しもう！ 参加人数 6組12人	当館職員	・集まった親同士が情報交換（育児・生活・あそび・勉強）をしながら「子育ての輪づくり」や家庭・地域での「あそびの環境づくり」ができるよう支援していく。 ・様々な製作を通し、季節を感じ、子どもの成長を見守る。

講座・学習プログラム

講座名	子育てサロン～ママリフレッシュ BALABO～（児童館共催）			
対 象	未就学児の保護者			
募集人数	各回10人（子ども同伴可）	参加人数	延べ 23組50人	
事業の課題と目標				
課 題				
・子育て中は、行動範囲も限られた様々な人との関わりが少なくなりがちである。 ・核家族やひとり親の増加に伴い、気軽に育児の相談をしたり、話題にしたりできず不安を抱えてしまう傾向にある。				
目 標				
・参加者同士が交流を図ることで、交流関係を広げる。 ・異年齢の子を持つ保護者同士、それぞれ子育ての悩みなどを気軽に話すことや講師の話を聞くことで、子育てに少しでも活かせるようにする。				
学習期間	令和4年7月～令和5年3月		回数	9回
学習場所	児童館（小学生ルーム）			
予 算	総額：	45,000 円	決 算	総額： 11,500 円
	※うち参加者負担金	45,000 円		※うち参加者負担金 11,500 円
	内訳： 講師料	0 円		内訳： 講師料 0 円
	その他事業費	45,000 円	その他事業費	11,500 円
講 師	一般社団法人体力メンテナンス協会 バランスボールインストラクター YUCCAさん・合戸百香さん			
事業参加者への配慮等				
・参加者同士、和気あいあいと取り組めるようにする。 ・誰でも話しやすくなるような雰囲気づくりを心掛ける。				
事業の成果（課題や目標に対して）				
・参加者同士、運動を通じて交流ができた。 ・子育ての悩みや産後の体調などお互いに話すことで、安心して情報交換の場になった。				
備 考				

学習報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	講 師	事業のねらい
1	7月14日	バランスボールエクササイズ 参加人数 5組10人 自己負担金 2,500円	YUCCA先生	・参加者同士が交流を図ることで交流関係を広げる。 ・異年齢の子を持つ保護者同士、それぞれ子育ての悩みなどを気軽に話すことや講師の話を聞くことで、子育てに少しでも活かせるようにする。
2	8月17日	バランスボールエクササイズ 参加人数 2組4人 自己負担金 1,000円	YUCCA先生	・参加者同士が交流を図ることで交流関係を広げる。 ・異年齢の子を持つ保護者同士、それぞれ子育ての悩みなどを気軽に話すことや講師の話を聞くことで、子育てに少しでも活かせるようにする。
3	9月15日	バランスボールエクササイズ 参加人数 3組6人 自己負担金 1,500円	YUCCA先生	・参加者同士が交流を図ることで交流関係を広げる。 ・異年齢の子を持つ保護者同士、それぞれ子育ての悩みなどを気軽に話すことや講師の話を聞くことで、子育てに少しでも活かせるようにする。
4	10月27日	バランスボールエクササイズ 参加人数 3組6人 自己負担金 1,500円	YUCCA先生	・参加者同士が交流を図ることで交流関係を広げる。 ・異年齢の子を持つ保護者同士、それぞれ子育ての悩みなどを気軽に話すことや講師の話を聞くことで、子育てに少しでも活かせるようにする。
5	11月19日	バランスボールエクササイズ 参加人数 2組6人 1,000円	合戸先生	・参加者同士が交流を図ることで交流関係を広げる。 ・異年齢の子を持つ保護者同士、それぞれ子育ての悩みなどを気軽に話すことや講師の話を聞くことで、子育てに少しでも活かせるようにする。

学習報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	講 師	事業のねらい
6	12月13日	バランスボールエクササイズ 参加人数 2組4人 自己負担金 1,000円	YUCCA先生	・参加者同士が交流を図ることで交流関係を広げる。 ・異年齢の子を持つ保護者同士、それぞれ子育ての悩みなどを気軽に話すことや講師の話を聞くことで、子育てに少しでも活かせるようになる。
7	1月21日	バランスボールエクササイズ 参加人数 2組6人 自己負担金 1,000円	YUCCA先生	・参加者同士が交流を図ることで交流関係を広げる。 ・異年齢の子を持つ保護者同士、それぞれ子育ての悩みなどを気軽に話すことや講師の話を聞くことで、子育てに少しでも活かせるようになる。
8	2月17日	バランスボールエクササイズ 参加人数 2組4人 自己負担金 1,000円	合戸先生	・参加者同士が交流を図ることで交流関係を広げる。 ・異年齢の子を持つ保護者同士、それぞれ子育ての悩みなどを気軽に話すことや講師の話を聞くことで、子育てに少しでも活かせるようになる。
9	3月10日	バランスボールエクササイズ 参加人数 2組4人 自己負担金 1,000円	YUCCA先生	・参加者同士が交流を図ることで交流関係を広げる。 ・異年齢の子を持つ保護者同士、それぞれ子育ての悩みなどを気軽に話すことや講師の話を聞くことで、子育てに少しでも活かせるようになる。

講座・学習プログラム

講座名	ジョイキッズ（児童館共催）			
対 象	小学生			
募集人数	8人（初回のみ6人）	参加人数	延べ16人	
事業の課題と目標				
課 題	・異学区や異学年と交流するきっかけが少ない。 ・貧困国について触れる機会が少ない。			
目 標	・小物を作りながら交流を図る。 ・国際交流、貢献に目を向ける。			
学習期間	令和4年7月～令和4年12月			回数
学習場所	児童館（中高生ルーム）			3回
予 算	総額： ※うち参加者負担金 内訳：講師料	16,000 円 5,900 円 0 円	決 算	総額： ※うち参加者負担金 内訳：講師料 その他事業費
		16,000 円		20,770 円 5,050 円 0 円 20,770 円
講 師	当館職員			
事業参加者への配慮等				
・怪我をしないように気を付ける。 ・楽しく参加できる雰囲気をつくる。				
事業の成果（課題や目標に対して）				
・個性豊かな作品を楽しむことができた。 ・参加者同士、交流を図ることができた。				
備 考	・令和5年4月にフェスティバル等での作品販売の売上15,720円をブルキナファソ友好協会に寄付予定。			

学習報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	講 師	事業のねらい
1	7月2日	キラキラ万華鏡 参加人数 6人 自己負担金 1,750円	当館職員	・怪我をしないように気を付ける。 ・楽しく参加できる雰囲気をつくる。
2	10月1日	マイ望遠鏡 参加人数 6人 自己負担金 1,800円	当館職員	・怪我をしないように気を付ける。 ・楽しく参加できる雰囲気をつくる。
3	12月3日	うさぎ de サンタ 参加人数 4人 自己負担金 1,000円	当館職員	・怪我をしないように気を付ける。 ・楽しく参加できる雰囲気をつくる。

講座・学習プログラム

講座名	トライアカデミー～ものづくり教室～（定期講座・児童館・憩いの家共催）			
対 象	小学3～6年生			
募集人数	12人	参加人数	12人	
事業の課題と目標				
課 題				
・異学区、異学年の子ども同士が交流をするきっかけが少ない。 ・子どもがものづくりに興味を持ち、学習するきっかけとなる機会が少ない。				
目 標				
・工作活動を通じて、アイデアを具現化する能力と技術をもった創造性豊かな人間形成を図る。 ・常に新しいものに挑戦する気持ちを持つこと。更にチャレンジ精神やプラス思考を養う。 ・人と人とのふれあいを通じて豊かな心を育てる。				
学習期間	令和4年5月～令和5年2月		回数	10回
学習場所	研修室Ⅰ・Ⅱ			
予 算	総額：	70,000 円	総額：	69,842 円
	※うち参加者負担金	42,000 円	※うち参加者負担金	42,000 円
	内訳：講師料	27,842 円	内訳：講師料	27,842 円
	その他事業費	42,158 円	その他事業費	42,000 円
講 師	近藤雅昭さん・柿沼春雄さん・言後良一さん・川上博行さん・瀧野宏さん・高地徹郎さん			
事業参加者への配慮等				
・楽しい雰囲気の中で、真剣に取り組めるように配慮する。				
事業の成果（課題や目標に対して）				
・子どもがものづくりに興味を持ち、作り上げる楽しさを感じられた。 ・一年を通じて工作活動をする中で異学区、異学年の子ども同士、交流を図ることができた。				
備 考				

学習報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	講 師	事業のねらい
1	5月8日	開講式 ウキウキ！モンキー 参加人数 10人	近藤先生 他	・楽しい雰囲気の中で、真剣に取り組めるように配慮する。
2	6月12日	プロペラ飛行機 参加人数 12人	近藤先生 他	・楽しい雰囲気の中で、真剣に取り組めるように配慮する。
3	7月10日	カエルのバッククンちょ金箱 参加人数 12人	近藤先生 他	・楽しい雰囲気の中で、真剣に取り組めるように配慮する。
4	8月7日	ゲルマラジオ① 参加人数 9人	近藤先生 他	・楽しい雰囲気の中で、真剣に取り組めるように配慮する。
5	9月11日	ゲルマラジオ② 参加人数 11人	近藤先生 他	・楽しい雰囲気の中で、真剣に取り組めるように配慮する。

学習報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	講 師	事業のねらい
6	10月16日	プロペラカー 参加人数 9人	近藤先生 他	・楽しい雰囲気の中で、真剣に取り組めるように配慮する。
7	11月13日	ゴリラの親子 参加人数 10人	近藤先生 他	・楽しい雰囲気の中で、真剣に取り組めるように配慮する。
8	12月11日	歩くロボット 参加人数 6人	近藤先生 他	・楽しい雰囲気の中で、真剣に取り組めるように配慮する。
9	1月15日	手動バケツクレーン① 参加人数 11人	近藤先生 他	・楽しい雰囲気の中で、真剣に取り組めるように配慮する。
10	2月19日	手動バケツクレーン② 修了式 参加人数 12人	近藤先生 他	・楽しい雰囲気の中で、真剣に取り組めるように配慮する。

講座・学習プログラム

講座名	バンドチャレンジ講座5（定期講座・児童館・憩いの家共催）			
対 象	中学生以上			
募集人数	—	参加人数	15人	
事業の課題と目標				
課 題				
・バンドに挑戦したいが、市内で教えてくれる人も場所もない。				
・音楽を披露する場が少ない。				
目 標				
・音楽活動を通じて世代間交流を図る。（白井市第5次総合計画～拠点創造プロジェクト～）				
・音楽で地域の活性化を図る。				
学習期間	令和3年11月～令和4年10月		回数	25回
学習場所	レクホール・視聴覚室・憩いの家			
予 算	総額：	150,000 円	総額：	140,359 円
	※うち参加者負担金	45,000 円	※うち参加者負担金	45,000 円
	内訳：講師料	100,233 円	内訳：講師料	100,233 円
	その他事業費	49,767 円	その他事業費	40,126 円
講 師	鳥集さん・石井健一さん・折山光男さん			
事業参加者への配慮等				
・機材が重いのので怪我に気を付ける。				
・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。				
・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。				
・感染症拡大防止に努める。				
事業の成果（課題や目標に対して）				
・バンド活動を通して、中学生からシニアまで世代間交流が図れた。				
・講座としてチャリティライブ「輪音」に参加し、白井駅前のイルミネーションに寄付することができた。				
・講座終了後サークル化し、活発に活動している。				
備 考				

学習報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	講 師	事業のねらい
1	11月13日	講座説明、自己紹介、パート練習、個人発表 参加人数 9人	鳥集先生 石井先生 折山先生	・機材が重いのので怪我に気を付ける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・感染症拡大防止に努める。
2	11月27日	パート練習 他 参加人数 7人	鳥集先生 石井先生 折山先生	・機材が重いのので怪我に気を付ける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・感染症拡大防止に努める。
3	12月11日	パート練習 他 参加人数 12人	鳥集先生 石井先生 折山先生	・機材が重いのので怪我に気を付ける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・感染症拡大防止に努める。
4	12月25日	パート練習 他 参加人数 11人	鳥集先生 石井先生 折山先生	・機材が重いのので怪我に気を付ける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・感染症拡大防止に努める。
5	1月15日	パート練習、全体練習 他 参加人数 14人	鳥集先生 石井先生 折山先生	・機材が重いのので怪我に気を付ける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・感染症拡大防止に努める。

学習報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	講 師	事業のねらい
6	1月29日	パート練習、全体練習 他 参加人数 11人	鳥集先生 石井先生 折山先生	・機材が重いので怪我に気を付ける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・感染症拡大防止に努める。
7	2月12日	パート練習、全体練習 他 参加人数 12人	鳥集先生 石井先生 折山先生	・機材が重いので怪我に気を付ける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・感染症拡大防止に努める。
8	2月26日	曲決め、パート練習、全体練習 他 参加人数 12人	鳥集先生 石井先生 折山先生	・機材が重いので怪我に気を付ける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・感染症拡大防止に努める。
9	3月12日	パート練習、全体練習 他 参加人数 8人	鳥集先生 石井先生 折山先生	・機材が重いので怪我に気を付ける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・感染症拡大防止に努める。
10	3月26日	パート練習、全体練習 他 参加人数 14人	鳥集先生 石井先生 折山先生	・機材が重いので怪我に気を付ける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・感染症拡大防止に努める。

学習報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	講 師	事業のねらい
11	4月9日	パート練習、全体練習 他 参加人数 11人	鳥集先生 石井先生 折山先生	・機材が重いので怪我に気を付ける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・感染症拡大防止に努める。
12	4月23日	パート練習、全体練習 他 参加人数 13人	鳥集先生 石井先生 折山先生	・機材が重いので怪我に気を付ける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・感染症拡大防止に努める。
13	5月14日	ファミリーコンサートに向けての練習 参加人数 10人	鳥集先生 石井先生 折山先生	・機材が重いので怪我に気を付ける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・感染症拡大防止に努める。
14	5月28日	ファミリーコンサートに向けての練習 参加人数 13人	鳥集先生 石井先生 折山先生	・機材が重いので怪我に気を付ける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・感染症拡大防止に努める。
15	6月4日	ファミリーコンサートに向けての練習 参加人数 10人	鳥集先生 石井先生 折山先生	・機材が重いので怪我に気を付ける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・感染症拡大防止に努める。

学習報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	講 師	事業のねらい
16	6月18日	ファミリーコンサート 参加人数 13人	鳥集先生 石井先生 折山先生	・機材が重いので怪我に気を付ける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・感染症拡大防止に努める。
17	7月9日	輪音に向けて全体ミーティング パート練習、全体練習 参加人数 14人	鳥集先生 石井先生 折山先生	・機材が重いので怪我に気を付ける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・感染症拡大防止に努める。
18	7月23日	輪音事前会議、練習 参加人数 13人	鳥集先生 石井先生 折山先生	・機材が重いので怪我に気を付ける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・感染症拡大防止に努める。
19	8月6日	パート練習、全体練習 参加人数 12人	鳥集先生 石井先生 折山先生	・機材が重いので怪我に気を付ける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・感染症拡大防止に努める。
20	8月20日	輪音候補曲練習 参加人数 14人	鳥集先生 石井先生 折山先生	・機材が重いので怪我に気を付ける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・感染症拡大防止に努める。

学習報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	講 師	事業のねらい
21	9月3日	パート練習、全体練習 他 参加人数 11人	鳥集先生 石井先生 折山先生	・機材が重いので怪我に気を付ける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・感染症拡大防止に努める。
22	9月17日	輪音に向けた練習 参加人数 9人	鳥集先生 石井先生 折山先生	・機材が重いので怪我に気を付ける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・感染症拡大防止に努める。
23	10月8日	輪音に向けた練習 参加人数 13人	鳥集先生 石井先生 折山先生	・機材が重いので怪我に気を付ける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・感染症拡大防止に努める。
24	10月29日	輪音に向けた練習 参加人数 13人	鳥集先生 石井先生 折山先生	・機材が重いので怪我に気を付ける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・感染症拡大防止に努める。
25	10月30日	輪音参加 参加人数 16人	鳥集先生 石井先生 折山先生	・機材が重いので怪我に気を付ける。 ・仲間づくりに重点を置くことで方向性がぶれないようにする。 ・一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・感染症拡大防止に努める。

講座・学習プログラム

講座名	ライフサポート講座（①想いの家共催②児童館共催）			
対 象	①一般 ②幼児親子			
募集人数	①一	②8組	参加人数	延べ 64人
事業の課題と目標				
課 題	・様々な悩みを抱えている市民が多い。 ・①コロナ禍で制約のある生活を送ることにより、様々な活動が停滞している。 ・②子育て世代が日々の生活の中で防災について知り、体験する機会が少ない。			
目 標	・生活の中の困りごとについて情報提供したり、解決させたりすることで心身ともに豊かなライフを目指す。 ・①地域、他地域の人々が交流するきっかけを設けることで地域活動への参加をアシストし、心身ともに豊かな生活へと導く。 ・①コロナ禍において、発表の機会が減少したサークルが活動の成果を披露する場とする。 ・②子育て世代における防災意識を高める。 ・②白井総合公園の防災設備について知る機会とする。			
学習期間	令和4年6月～令和4年11月		回数	2回
学習場所	①レクホール ②白井総合公園、白井消防署、しろい市民まちづくりサポートセンター			
予 算	総額：	15,000 円	総額：	13,301 円
	※うち参加者負担金	2,400 円	※うち参加者負担金	1,200 円
内 訳：	講師料	0 円	内訳：	講師料 0 円
	その他事業費	15,000 円	その他事業費	13,301 円
講 師	②白井消防署職員、白井市役所危機管理課職員			
事業参加者への配慮等				
・感染症拡大防止に努める。 ・①一人でも気軽に参加できる環境や雰囲気づくりを心がける。 ・②話しやすい環境設定に配慮し、子どもたちが飽きないよう注意する。 ・怪我に気を付ける。				
事業の成果（課題や目標に対して）				
・①参加したすべての団体にサークル参加希望があり、各々新メンバーが加入した。 ・②白井総合公園の防災設備について説明したことで、参加者の防災意識の高まりを感じることができた。				
備 考				

学習報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	講 師	事業のねらい
1	6月19日	<縁結びデー> （サークル活動に参加したい方と、仲間を増やしたいサークルのマッチングイベント） 参加人数 58人	—	・地域、他地域の人々が交流するきっかけを設けることで地域活動への参加をアシストし、心身ともに豊かな生活へと導く。 ・コロナ禍において、発表の機会が減少したサークルが活動の成果を披露する場とする。
2	11月24日	<わくわく！ものしりぼうけんウォーク！> 参加人数 3組6人 自己負担金 1,200円	白井消防署職員 白井市役所危機管理課職員	・子育て世代における防災意識を高める。 ・白井総合公園の防災設備について知る機会とする。

講座・学習プログラム

講座名	スマイルライフ倶楽部（定期講座・憩いの家共催）			
対 象	65歳以上の方			
募集人数	10人	参加人数	21人	
事業の課題と目標				
課 題	・コロナ禍で高齢者を対象とした集いの場が減り、心身の健康が懸念されている。 ・自主的に活動する団体を育成し、地域住民の居場所をつくる必要がある。			
目 標	・コロナ禍でさらに孤立化が進んでいる高齢者を中心とした“集いの場”づくり。 ・シニア向けプログラムを用いて、地域の高齢者が健やかに暮らせるように導く。			
学習期間	令和4年4月～令和5年3月		回数	22回
学習場所	レクホール、視聴覚室、研修室Ⅰ・Ⅱ			
予 算	総額：	15,000 円	総額：	21,000 円
	※うち参加者負担金	12,000 円	※うち参加者負担金	21,000 円
	内訳：講師料	0 円	内訳：講師料	0 円
	その他事業費	15,000 円	その他事業費	21,000 円
講 師	（共催団体：スマイルライフ倶楽部）			
事業参加者への配慮等				
・感染症拡大防止に努める。 ・話しやすい環境設定に配慮する。 ・将来的に自立し、継続的な活動になるよう公平な視点でサポートする。				
事業の成果（課題や目標に対して）				
・高齢者が集い様々な活動を通して、明るく健やかな暮らしの礎を築くことができた。 ・講座参加率が高く、持続性のある取り組みとなった。 ・講座終了後も引き続き活動を継続するため、新規サークルを立ち上げ自主運営に取り組んでいる。				
備 考				

学習報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	講 師	事業のねらい
1	4月13日	講座説明 他 参加人数 20人	—	・高齢者を中心とした集いの場づくりを目指す新規団体の立ち上げ。
2	4月27日	認知症サポーター養成講座について 他 参加人数 17人	—	・高齢者を中心とした集いの場づくりを目指す新規団体の立ち上げ。
3	5月11日	ストレッチ、筋トレ 他 参加人数 16人	—	・高齢者を中心とした集いの場づくりを目指す新規団体の立ち上げ。
4	5月25日	ストレッチ、筋トレ、腹話術 他 参加人数 15人	—	・高齢者を中心とした集いの場づくりを目指す新規団体の立ち上げ。
5	6月8日	ストレッチ、筋トレ、おしゃべり交流会 他 参加人数 18人	—	・高齢者を中心とした集いの場づくりを目指す新規団体の立ち上げ。

学習報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	講 師	事業のねらい
6	6月22日	ストレッチ、筋トレ、熱中症予防講座 他 参加人数 15人	—	・高齢者を中心とした集いの場づくりを目指す新規団体の立ち上げ。
7	7月13日	ストレッチ、筋トレ、おしゃべり交流会 他 参加人数 12人	—	・高齢者を中心とした集いの場づくりを目指す新規団体の立ち上げ。
8	7月27日	筋トレ、おしゃべり交流会、音楽鑑賞 他 参加人数 16人	—	・高齢者を中心とした集いの場づくりを目指す新規団体の立ち上げ。
9	8月10日	ストレッチ、筋トレ、おしゃべり交流会 他 参加人数 10人	—	・高齢者を中心とした集いの場づくりを目指す新規団体の立ち上げ。
10	8月24日	ストレッチ、筋トレ、フラダンス鑑賞 他 参加人数 13人	—	・高齢者を中心とした集いの場づくりを目指す新規団体の立ち上げ。

学習報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	講 師	事業のねらい
11	9月14日	ストレッチ、筋トレ 他 参加人数 14人	—	・高齢者を中心とした集いの場づくりを目指す新規団体の立ち上げ。
12	9月28日	ストレッチ、筋トレ、朗読鑑賞 他 参加人数 17人	—	・高齢者を中心とした集いの場づくりを目指す新規団体の立ち上げ。
13	10月12日	体操、脳トレ、おしゃべり交流会 他 参加人数 17人	—	・高齢者を中心とした集いの場づくりを目指す新規団体の立ち上げ。
14	10月26日	体操、脳トレ、ウォーキング講座 他 参加人数 14人	—	・高齢者を中心とした集いの場づくりを目指す新規団体の立ち上げ。
15	11月9日	体操、脳トレ、おしゃべり交流会 他 参加人数 14人	—	・高齢者を中心とした集いの場づくりを目指す新規団体の立ち上げ。

学習報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	講 師	事業のねらい
16	11月30日	体操、脳トレ、ハーモニカ演奏会 他 参加人数 17人	—	・高齢者を中心とした集いの場づくりを目指す新規団体の立ち上げ。
17	12月14日	体操、脳トレ、おしゃべり交流会 他 参加人数 13人	—	・高齢者を中心とした集いの場づくりを目指す新規団体の立ち上げ。
18	1月11日	体操、脳トレ、おしゃべり交流会 他 参加人数 14人	—	・高齢者を中心とした集いの場づくりを目指す新規団体の立ち上げ。
19	1月25日	悪天候予報のため中止	—	・高齢者を中心とした集いの場づくりを目指す新規団体の立ち上げ。
20	2月8日	体操、脳トレ、おしゃべり交流会 他 参加人数 14人	—	・高齢者を中心とした集いの場づくりを目指す新規団体の立ち上げ。

学習報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	講 師	事業のねらい
21	2月22日	体操、脳トレ、おしゃべり交流会 他 参加人数 14人	—	・高齢者を中心とした集いの場づくりを目指す新規団体の立ち上げ。
22	3月8日	修了式 ゲーム 他 参加人数 15人	—	・高齢者を中心とした集いの場づくりを目指す新規団体の立ち上げ。

講座・学習プログラム

講座名	「SDGs 8 働きがいも経済成長も」「SDGs 11 住み続けられるまちづくりを」 ～ハッピートラベル～（憩いの家共催）			
対 象	一般			
募集人数	①15人 ②12人	参加人数	延べ 19人	
事業の課題と目標				
課 題				
・コロナ禍の影響で旅行しにくくなった。また、人と人とのふれあいや交流も減少傾向にある。 そのような中でも前向きに過ごすため、新たな学習方法で活動することが必要。				
・SDGsについて詳しく学習する機会が少ない。				
・男女共同参画について理解を深める機会が少ない。				
・まちづくりやコミュニティについて、楽しく学ぶ機会が必要。				
目 標				
・WEBを活用して、コロナ禍で行きづらくなった国内旅行を疑似体験する。				
・リモートで現地と繋いで「まちづくり」について語り合い、働きがいや経済成長（SDGs 8）や、 住み続けられるまちづくり（SDGs 11）について知り、考える機会にする。				
・男女共同参画の観点から「まちづくり」について学ぶ。				
学習期間	令和4年9月～令和5年1月		回数	2回
学習場所	憩いの家			
予 算	総額：	20,000 円	決 算	総額：
	※うち参加者負担金	5,400 円		※うち参加者負担金
	内訳： 講師料	15,000 円		内訳： 講師料
	その他事業費	5,000 円		その他事業費
講 師	①阪神ワークスコープ理事長 馬場義竜さん ②一般社団法人石積み学校 金子玲大さん、しろいふるさとガイドの会、白井市役所 市民活動支援課職員			
事業参加者への配慮等				
・感染症拡大防止に努める。				
・視聴覚機材を使用するため、環境設定に配慮する。				
事業の成果（課題や目標に対して）				
・①男女の参加があり、フラットな立場で議論することができた。				
・②地元団体が白井について説明することで参加者の地元理解が深まった。				
・②参加者が市民活動に興味、関心を持つきっかけとなった。				
備 考				
・①男女共同参画事業として市民活動支援課と共催				

学習報告

No	日程	学習主題・内容・方法等	講師	事業のねらい
1	9月22日	・兵庫県尼崎市の疑似トラベル ・女性の起業について（男女共同参画・市民活動支援課共催事業） 参加人数 9人	馬場先生	・WEBを活用して、コロナ禍でできなくなった国内旅行を疑似体験する。 ・リモートで現地と繋いで「まちづくり」について語り合い、働きがいや経済成長（SDGs 8）や、住み続けられるまちづくり（SDGs 11）について知り、考える機会にする。 ・男女共同参画の観点から「まちづくり」について学ぶ。
2	1月24日	・あなたの知らない石積みの世界～こんなところにもSDGs～ 参加人数 10人	金子先生 しろいふるさとガイドの会 市民活動支援課職員	・WEBを活用して、コロナ禍でできなくなった国内旅行を疑似体験する。 ・リモートで現地と繋いで「まちづくり」について語り合い、働きがいや経済成長（SDGs 8）や、住み続けられるまちづくり（SDGs 11）について知り、考える機会にする。

講座・学習プログラム

講座名	施設予約システム勉強会～スマホ ver～			
対 象	団体登録済みでスマートフォンが使えるて両日参加できる方			
募集人数	各組8人	参加人数	1人	
事業の課題と目標				
課 題	・スマートフォンを使った施設予約の仕方がわからず、サークルや団体内で施設予約係になった方が苦慮されている。 ・コロナ禍において停滞傾向にあるサークルや団体活動をサポートする必要がある。			
目 標	・スマートフォンを使った施設予約方法を学び、サークルや団体活動の事務的負担を軽減する。			
学習期間	令和4年4月	回数	2回（1回2日間）	
学習場所	視聴覚室			
予 算	総額：	0 円	総額：	0 円
	※うち参加者負担金	0 円	決 算	※うち参加者負担金
	内訳： 講師料	0 円	内訳：	講師料
	その他事業費	0 円	その他事業費	その他事業費
講 師	当館職員			
事業参加者への配慮等				
・感染症拡大防止に努める。 ・話しやすい環境設定に配慮する。				
事業の成果（課題や目標に対して）				
・実際にスマートフォンを使って施設予約をすることで理解が深まった。 ・事務の不安を解消し、サークル活動の継続に繋がった。				
備 考				

学習報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	講 師	事業のねらい
1	4月10日	(さくら組：1 回目) 抽選予約申請 他 参加人数 0 人	当館職員	・スマートフォンを使った施設予約方法を学び、サークルや団体活動の事務的負担を軽減する。
2	4月14日	(なのはな組：1 回目) 抽選予約申請 他 参加人数 1 人	当館職員	・スマートフォンを使った施設予約方法を学び、サークルや団体活動の事務的負担を軽減する。
3	4月21日	(なのはな組：2 回目) 抽選予約当選結果確認 他 参加人数 1 人	当館職員	・スマートフォンを使った施設予約方法を学び、サークルや団体活動の事務的負担を軽減する。
4	4月24日	(さくら組：2 回目) 抽選予約当選結果確認 他 参加人数 0 人	当館職員	・スマートフォンを使った施設予約方法を学び、サークルや団体活動の事務的負担を軽減する。

事業活動

事業名	地域懇談会（利用団体連絡会）		
対 象	一般		
参加人数	18団体21人		
事業の課題と目標			
課 題	・地域課題の掘り起こしが必要。 ・例年行っていたセンタースタッフステイバルについて、開催意思を確認する必要がある。		
目 標	・日頃感じている地域課題について話し合い、解決に向けた取り組みを行う。 ・令和4年度のセンタースタッフステイバルについて開催意思を確認する。 ・各サークルや地域住民同士、コミュニケーションを図り、地域活性化を目指す。		
期 間	令和4年9月	回 数	1回
場 所	レクホール		
事業参加者への配慮等	・話しやすい雰囲気をつくる。		
事業の成果（課題や目標に対して）	・センタースタッフ利用方法（利用神通、備品保管 他）について確認。 ・令和4年度のセンタースタッフステイバル開催を決定。 ・センタースタッフステイバルの開催方針（コロナ対策）を検討し、決定。		
備 考			

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	9月10日	地域懇談会（利用団体連絡会総会） 参加団体 18団体 21人	・日頃感じている地域課題について話し合い、解決に向けた取り組みを行う。 ・令和4年度のセンタースタッフステイバルについて開催意思を確認する。 ・各サークルや地域住民同士、コミュニケーションを図り、地域活性化を目指す。

事業活動

事業名	白井駅前センターフェスティバル（児童館・憩いの家共催）		
対 象	地域住民		
参加人数	延べ 973人		
事業の課題と目標			
課 題	・日頃の学習成果を発表する機会を設け、生涯学習の意義を伝える必要がある。		
目 標	・駅前センター利用団体が、日頃の成果を発表することや市民に生涯学習の意義や楽しさを伝える機会とする。 ・地域の団体、組織が一同に会することで交流を図り、地域活性化につなげる。		
期 間	令和5年3月	回 数	1回（2日間）
場 所	全館		
事業参加者への配慮等			
・怪我に気を付ける。 ・駐車場等の点で、近隣の方に注意する。 ・参加者や来館者が楽しめる様、サポートする。			
事業の成果（課題や目標に対して）			
・感染症拡大防止の観点から中止していたセンターフェスティバルが4年振りに開催され、地域のサークル、団体が集う機会となった。 ・参加者、来場者が生涯学習や地域活動について理解を深めることができた。			
備 考			

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	11月26日	・実行委員会、事前打ち合わせ ・20団体 23人参加	・駅前センター利用団体が、日頃の成果を発表することや市民に生涯学習の意義や楽しさを伝える機会とする。 ・地域の団体、組織が一同に会することで交流を図り、地域活性化につなげる。 ・地域の団体、組織が一同に会することで交流を図り、地域活性化につなげる。
2	1月28日	・実行委員会、事前打ち合わせ ・22団体 22人参加	・駅前センター利用団体が、日頃の成果を発表することや市民に生涯学習の意義や楽しさを伝える機会とする。 ・地域の団体、組織が一同に会することで交流を図り、地域活性化につなげる。 ・地域の団体、組織が一同に会することで交流を図り、地域活性化につなげる。
3	3月18 ・19日	・センターフェスティバル ・延べ 906人参加	・駅前センター利用団体が、日頃の成果を発表することや市民に生涯学習の意義や楽しさを伝える機会とする。 ・地域の団体、組織が一同に会することで交流を図り、地域活性化につなげる。 ・地域の団体、組織が一同に会することで交流を図り、地域活性化につなげる。
4	3月25日	・振り返りの会 ・22団体 22人参加	・駅前センター利用団体が、日頃の成果を発表することや市民に生涯学習の意義や楽しさを伝える機会とする。 ・地域の団体、組織が一同に会することで交流を図り、地域活性化につなげる。 ・地域の団体、組織が一同に会することで交流を図り、地域活性化につなげる。

事業活動

事業名	「SDGs 8 働き甲斐も経済成長も」・「SDGs 11 住み続けられるまちづくりを」 白井市第5次総		
対 象	一般		
参加人数	111人		
事業の課題と目標			
課 題			
・少子高齢化時代において、世代や境遇を超えて地域が一体化する機会を設け、繋がりを強化する必要がある。			
・SDGs を地域活動の中で具現化していくことが必要。			
目 標			
・白井市第5次総合計画「拠点創造プロジェクト」に基づき地域の人々がつながる為のきっかけをつくる。			
・SDGs 8 働き甲斐も経済成長も」・「SDGs 11 住み続けられるまちづくりを」を意識した取り組みにする。			
・参加者、来場者が交流を図る。また、音楽で地域の活性化を図る。			
・白井駅のイルミネーションを行っている団体へのチャリティライブとして開催し、参加者・来場者が地域理解を深め、地域活性化に関われるようにする。			
期 間	令和4年10月	回 数	1回
場 所	研修室Ⅰ・Ⅱ、作法室、レクホール、視聴覚室、憩いの家、駐車場		
事業参加者への配慮等			
・感染症拡大防止に努める。			
・機材が重いのでケガに気を付ける。			
・皆でつくり上げるイベントとなるよう、配慮する。			
事業の成果（課題や目標に対して）			
・参加者同士の交流が図れていた。			
・地域の拠点となるに相応しく、楽しく有意義な時間を共有できた。			
・地域活性化に繋がる賑わいがみられた。			
・白井駅前のイルミネーションに寄付することができた。			
備 考			

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	7月23日 ・事前打ち合わせ		・白井市第5次総合計画“拠点創造プロジェクト”に基づき地域の人々がつながる為のきっかけをつくる。 ・SDG s 8 働き甲斐も経済成長も」・「SDG s 11 住み続けられるまちづくりを」を意識した取り組みにする。 ・参加者、来場者が交流を図る。また、音楽で地域の活性化を図る。 ・白井駅のイルミネーションを行っている団体へのチャリティライブとして開催し、参加者・来場者が地域理解を深め、地域活性化に関われるようにする。
2	10月30日 ～ライブ・反省会～ 参加人数 111人 (演奏者・販売・ボランティア含む)		・白井市第5次総合計画“拠点創造プロジェクト”に基づき地域の人々がつながる為のきっかけをつくる。 ・SDG s 8 働き甲斐も経済成長も」・「SDG s 11 住み続けられるまちづくりを」を意識した取り組みにする。 ・参加者、来場者が交流を図る。また、音楽で地域の活性化を図る。 ・白井駅のイルミネーションを行っている団体へのチャリティライブとして開催し、参加者・来場者が地域理解を深め、地域活性化に関われるようにする。

事業活動

事業名	駅前ボランティア（児童館・憩いの家共催）		
対 象	一般		
参加人数	延べ 226人		
事業の課題と目標			
課 題			
・高齢者が多い地域なので、若い世代を交えた地域づくりが必要。 ・市民同士の世代間交流、つながりづくりが必要。			
目 標			
・ボランティアを通して、地域・社会貢献を行う。 ・世代間交流を図る。			
期 間	令和4年4月～令和5年3月	回 数	開館日
場 所	全館		
事業参加者への配慮等			
・ボランティア精神に感謝し、参加者にも気遣いを忘れない。 ・地域の方々にも、館運営に協力してくれていることを知らせる。			
事業の成果（課題や目標に対して）			
・館内外の美化にご協力いただき、心豊かに集い、学べる環境が整った。 ・講座等へのサポートで、事業内容がより充実した。 ・講座参加者との年代を超えた温かな交流がみられた。			
備 考			

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	4月	環境整備、事業サポート 参加人数 延べ17人	・ボランティアを通して、地域・社会貢献を行う。 ・世代間交流を図る。
2	5月	環境整備、事業サポート 参加人数 延べ18人	・ボランティアを通して、地域・社会貢献を行う。 ・世代間交流を図る。
3	6月	環境整備、事業サポート 参加人数 延べ18人	・ボランティアを通して、地域・社会貢献を行う。 ・世代間交流を図る。
4	7月	事業サポート 参加人数 延べ14人	・ボランティアを通して、地域・社会貢献を行う。 ・世代間交流を図る。
5	8月	環境整備、事業サポート 参加人数 延べ16人	・ボランティアを通して、地域・社会貢献を行う。 ・世代間交流を図る。

事業報告

No	日 程	学習主題・内容・方法等	事業のねらい
6	9 月	事業サポート 参加人数 延べ15人	・ボランティアを通して、地域・社会貢献を行う。 ・世代間交流を図る。
7	10 月	環境整備、事業サポート 参加人数 延べ25人	・ボランティアを通して、地域・社会貢献を行う。 ・世代間交流を図る。
8	11 月	環境整備、事業サポート 参加人数 延べ34人	・ボランティアを通して、地域・社会貢献を行う。 ・世代間交流を図る。
9	12 月	環境整備、事業サポート 参加人数 延べ18人	・ボランティアを通して、地域・社会貢献を行う。 ・世代間交流を図る。
10	1 月	環境整備、事業サポート 参加人数 延べ24人	・ボランティアを通して、地域・社会貢献を行う。 ・世代間交流を図る。

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
11	2 月	環境整備、事業サポート 参加人数 延べ18人	・ボランティアを通して、地域・社会貢献を行う。 ・世代間交流を図る。
12	3 月	環境整備、事業サポート 参加人数 延べ11人	・ボランティアを通して、地域・社会貢献を行う。 ・世代間交流を図る。

事業活動

事業名	コミュニティファンド～駅前ファンド～（児童館・憩いの家共催）		
対 象	一般		
参加人数	—		
事業の課題と目標			
課 題	・地域の問題、課題を自らの力で解決する意識を住民・利用者が持ち、行動に移すことがまちづくりとして必要。 ・市の中心地である白井駅前に賑わいを創出し、まちづくりを活性化させることが必要。		
目 標	・ドリンク販売を通じて自発的に寄付したり、資金を提供しあったりすることで地域課題を館利用者や地域住民、団体自らが解決する循環システムを構築する。		
期 間	令和4年4月～令和5年3月	回 数	開館日
場 所	ドリンク販売：1階ロビー		
事業参加者への配慮等			
・	地域課題に市民、利用者が自発的に取り組むきっかけづくり、意識づくりを行う。		
事業の成果（課題や目標に対して）			
・	白井駅前のイルミネーションに寄付することで、館利用者や駅前商店会と連携し地域活性化につながった。		
・	ドリンク購入者に本事業の意図を伝えることで、地域課題の共有と解決への一歩につながった。		
備 考			

事業報告

No	日 程	事業内容・方法等	事業のねらい
1	4月 ～3月	前年度繰越額 22,373円 ロビーカフェ 駅前ファンド ⇒協賛金 71,832円（繰越金含む） 白井駅前商店会（イルミネーションへ） 61,960円 次年度繰越額 9,872円	ドリンク販売を通じて自発的に寄付したり、資金を提供しあったりすることで 地域課題を館利用者や地域住民、団体自らが解決する循環システムを構築する。